

3 「めざす姿」の達成状況

(1) 「量の行財政改革」の達成状況

予期せぬ収入減少や不測の支出増加に備え、将来に向けて安定的かつ効率的な市政運営を行う体制づくりのため、事務事業の見直しやアウトソーシング等を推進し、歳出の削減と歳入の確保に努めた。

行財政改革の取組による効果額の推移 (単位：千円)

27年度	28年度	29年度	30年度	合計
163,780	442,622	628,595	1,047,949	2,282,946

(2) 「質の行財政改革」の達成状況

① スクラップ&ビルドの徹底

歳入の大幅な増加が見込めず、歳出の抑制が必要な状況のもと、効果の薄い事業を縮小、統廃合し財源を確保しつつ、新規・拡充事業を組み立てるため、事業の今後の方向性について政策的な判断を行うことを目的として、プランⅡ期間中に85事業を対象に市長・副市長ヒアリングを実施し、見直しの指示を受けた。

② 各部が主体的に取り組む体制の構築

各部において、行財政改革の重点取組項目を設定、着実にその取組を推進し、全25項目について目標を達成した。また、行財政改革の視点で事業の見直しを行う経営管理プロジェクトチームの構成員を各部に配置することで、主体的に行財政改革に取り組む体制を構築した。